

共立蒲原総合病院  
市民公開講座

# 「婦人科検診について」

“婦人科癌は集団検診だけでよいのか!?”

**11月29日(木)**

**15:00~**

**蒲原病院5階会議室**

講師

共立蒲原総合病院 婦人科 医師

**伊吹友二**

婦人科検診の必要性と婦人科を受診すべき症状

婦人科は女性にとって、できるだけ受診したくない科である。そのため、検診の受診率も上がらず、強い症状が出現してから婦人科受診をするため、検診以外での早期発見が難しい。一般に子宮がん検診と言われるが、実際には子宮頸がん検診である。子宮頸癌に関してはウイルスの関与が言われているが、現時点ではウイルスを駆除する内服薬などは存在しない。そのため検診を受診している人は、子宮頸癌や頸部異形成を早期に発見し、早期に治療を開始できる可能性をもっている。ただ婦人科癌といった場合には、子宮体癌、卵巣癌、腔癌、外陰癌、原発性腹膜癌などが含まれる。それらに対して集団検診は存在せず、また早期発見が困難な場合が多い。そのため、どのような人が、どのような症状に注意して、かかりつけ婦人科を受診すべきかについて考えていきたい。

**入場無料**  
駐車場も無料です。

どなたでも参加できます。  
お気軽にお越し下さい。

お車でお越しの方は  
駐車券を会場まで  
お持ちください。

問い合わせ先

共立蒲原総合病院 地域医療支援室

0545-81-5577(担当：蛭川)

主催：蒲原病院 市民公開講座 実行委員会